

杉並区と区の交流自治体で総社市をスクラム支援

西日本豪雨（平成30年7月豪雨）被災地の岡山県総社市からの継続した支援要請に応えるため、杉並区ではこれまで2回にわたる支援を続けてきましたが、第3陣となる今回の支援では、区に加え区の交流自治体である北海道名寄市と新潟県小千谷市が「自治体スクラム支援」の一環として職員を派遣することになりました。支援は、廃棄物処理を中心に行い、派遣期間は7月25日から28日の4日間、10名（杉並区6名・名寄市2名・小千谷市2名）となります。

岡山県総社市では、浸水被害を受けた家庭から廃棄せざるを得ない家具や電化製品などが大量に排出されるなど、一時的な仮置き場に指定された河川敷の広場や公園には廃棄物が積み上げられている状況となっています。

杉並区では、こうした廃棄物の処理を担うため、7月13日から職員の派遣を続けていますが、今回の第3次は、19日から25日まで活動している第2次の6名の活動を引き継ぐかたちとなります。期間は、7月25日から28日の4日間で、杉並区の交流自治体の職員4名を加え、10名での支援となります。

杉並区と区の交流自治体が、力を合わせて被災地支援を行うのは、今回が初めてではありません。平成23年の東日本大震災では、区の交流自治体である福島県南相馬市を、同じく区の交流自治体である北海道名寄市や新潟県小千谷市等が、杉並区とともに支援した実績があります。こうした取組を「自治体スクラム支援（水平的支援）」と呼び、杉並区が災害時相互援助協定を締結する交流自治体と「自治体スクラム支援会議」を立ち上げて被災地への支援を進めています。今回の北海道名寄市や新潟県小千谷市からの職員派遣は、このスクラム支援の一環として実施されるものです。



24日午後4時過ぎ、杉並区から第3陣として現地に赴くメンバーが、その決意を田中良区長に報告しました。田中区長からは、「暑い中ですから体調管理をしっかりとって、名寄市・小千谷市の職員とともに、市民に寄り添う支援をしてほしい。」と激励しました。

【問い合わせ先】

危機管理室危機管理対策課 電話03-3312-2111（代表）